

【面接官の印象】

1. 外国人面接官の印象

温厚な 50 歳代くらいの男性ヨーロッパ人。

こちらが安心して試験に臨めるような空気を作ってくれていた。

2 分間スピーチの間は、大きくうなずきながら聞いてくれていた。

2. 通訳ガイド

50 歳代くらいの日本人女性。

通訳問題の日本語を、とてもわかりやすくゆっくりと読み上げてくれた。

3. 通訳試験について

《出題された日本文》

- ・メモ取り OK

「火山大国である日本には 3000 以上もの温泉がある。

古来より日本人は療養や健康増進のために温泉に入りました。

日本の旅館には自然の中で入れる露天風呂があり、国内外の観光客に大変人気です。

長野には、猿が入る露天風呂があり、たくさんのツアーが組まれています。」

- ・これを 1 分以内で訳し終えないといけない。

もたもたしていると全文訳せずにタイムアップとなってしまうので注意。

- ・これに関する質問はなく、最後の問題に移る

- ・A4 サイズの紙を渡され、そこにはロールプレイングの設定が日本語で書いてある。

- ・メモ取り OK。やりとりは互いに役になりきり、英語で行われる。

「ガイドを担当しているお客さんが温泉に入る予定だったが、お客さん全員にタトゥーが入っているため入浴できない。ガイドとしてどう案内するか？」

(紙には上記の状況に加えてさらに注釈のようなものが書いてあり、「入浴予定だった施設には事前にタトゥーについては入浴不可の旨確認済み」との設定)

《自分の解答》

I	大変申し訳ないが、入れ墨があるため入浴ができないと言われてしまった。ただし、これはお客様に責任があるのではなく、日本では「入れ墨があるのは、暴力団の一員である」という慣習があるためです。
NS	え？入れ墨があるひとはすべて暴力団の一員なのですか？
I	基本的にそう受け止められているが、一つ提案がある。個室で入れる風呂もあるので、そこでは入れる可能性がある。施設の方へ確認してみようと思う。

NS	この人数で、入れ墨があっても全員入れるのですか？
I	風呂の規模や人数制限、入れ墨可能かどうかをこれからスタッフへ確認しようと思う。ただし、追加料金がかかる可能性があるけれども、それでもよいか？
NS	それはかまわないけど、こんな小さな入れ墨でも温泉に入れなのか？
I	過去に、伴倉庫を貼って隠すことにより入れるケースがあったと聞いたことがあるので、その件も含め、スタッフに確認してみようと思う。

4. 2分間プレゼンテーションについて

《出題されたトピック》

・30秒間のメモ取り OK

- ① 水引
- ② 鳥居
- ③ 花見

《選択したトピック》

『 花見 』

《発表した内容》

・花見は日本人にとり、大切な年中行事の一つである。

その理由は、日本人ゆえの審美的感覚にあるようだ。

数日間の短い期間に咲き乱れ、散ってゆく桜はより魅力的で、日本人の心を打つからだ。

・時期は、3月下旬から4月上旬である。

・桜は日本人にとり、「始まり」のシンボルでもある。

なぜなら、この時期は多くの学生が学校を卒業し、入学し新しい仕事を始める時期でもあるからだ。

・花見に際し、日本人がよく行う慣習の一つとして、桜の木の下で行う「花見パーティー」がある。木の下にシートを広げて、友人や家族と飲食やおしゃべりを楽しみ、時には歌を歌い、家族や友人との絆をあたためる。

・花見におすすめの場所の一つは、上野公園である。

広大な公園には沢山の桜の木があるので、花見パーティーを楽しむ場所が豊富にある。都内にあるので、アクセスもしやすい。

・また、falling blossom（散る桜）を愛でるのにおすすめの場所もある。

目黒川だ。

5. 質疑応答について

他の回も基本的な質問が多かったようである。

変に込み入った質問はされないようである。

NS	桜の木ならヨーロッパにも沢山あるし、その時期楽しむことはできるけれども、どうして日本人は木の下でパーティーをするのか？
I	日本人は、自然を直に感じるのが好きな国民だからです。 外で風を感じながら桜を愛で、大切な人たちとの関係を温めます。

6. 試験を終えての感想

過去に例がない初めての試験スタイルだったので何が起こるか想像もつかず、その部分では緊張感があったが、何を聞かれどのような状況であってもガイドというスタンスで全力で答えようという強い気持ちを持って臨んだ。試験場の空気にもまれることなく、ある程度冷静に対応できたと思う。

受験生の緊張に配慮がなされた上で試験進行がされていたように感じた。

有難いと思いました。

時間帯によって、プレゼンのトピックに偏りがあったかもしれない。

自分の回は日本文化が中心のトピックで対応しやすいものだったと感じたが、他の時間帯では、社会問題や時事問題等のトピックが中心だったものもあったようでした。

前年は通信機器が事前に没収されたようでしたが、今年は電源をきり、会場を出るまで一切触らない（触ったら不合格）との注意のみでした。